

米国ケント州立大学との大学間交流協定調印式 及びオハイオ州知事の来訪



9月28日（火）、米国ケント州立大学との大学間交流協定調印式が行われ、また、オハイオ州知事が、立ち会われご祝辞をいただきました。

なお、詳細については、3頁をご覧ください。

目 次

学 内 の 動 き 3

- 平成16年度留学生センター第20期日本語研修コース・
第4期科学技術短期留学プログラム修了式を举行
- 米国ケント州立大学との大学間交流協定調印式及びオハイオ州知事の来訪
- 平成16年度大学院秋季修了式・学位記授与式
「大学教育センター」発足式典を举行
- 高大連携に伴う保護者への大学説明会を開催
- 平成16年度留学生センター第21期日本語研修コース・第5期科学技術
短期留学プログラム・第5期日韓共同理工系学部留学生予備教育開講式を举行
- 平成16年度大学院秋季入学式を举行
- 米国・ニューヨーク州立大学バッファロー校新学長就任式へ出席
- 動物追悼会
- クリーンキャンペーン
- オーストラリア・タスマニア大学長の来訪
- 講演会特集

規 則 等 9

人 事 異 動 12

行 事 9 月、10 月 13

シリーズ

F M多摩丘陵（波丘地）の植物 その16 裏表紙

F M多摩丘陵の樹木

農工大の樹 裏表紙

その52 エノキ

学内の動き

◎ 平成 16 年度留学生センター第 20 期日本語研修コース・ 第 4 期科学技術短期留学プログラム修了式

9 月 14 日（火）、本部第 2 会議室において、平成 16 年度留学生センター第 20 期日本語研修コース・第 4 期科学技術短期留学プログラム修了式を挙行し、日本語研修コース 20 名（10 ケ国）及び 10 名（8 ケ国）に修了証書が授与されました。

式では、宮田学長、澁澤留学生センター長の祝辞の後、日本語研修生を代表してケニア共和国のムワチャロ・ジョラーム・ムワシガディさんが日本語で、科学技術短期留学プログラム生を代表してカザフスタンのドルディナ・メルヤートさんが英語と日本語で謝辞を述べられました。



（式終了後の記念撮影）

◎ 米国ケント州立大学との大学間交流協定調印式 及びオハイオ州知事の来訪

9 月 28 日（火）、米国オハイオ州のボブ・タフト知事および、オハイオ州にあるケント州立大学のキャロル・カートライト学長が小金井キャンパスを訪問されました。

当日は、宮田学長とカートライト学長による大学間交流協定の調印式が行われ、調印式に立ち会われたタフト知事からご祝辞をいただきました。

調印式終了後、タフト知事の来訪を記念して、小金井キャンパスの時計塔前において、ハナミズキの植樹式が行われました。ハナミズキは、タフト知事の曾祖父であるウィリアム・ハワード・タフト第 27 代米国大統領が、当時、日本から米国に贈りポトマック河畔に植えたサクラの返礼としてハナミズキを寄贈したという経緯があり、サクラとともに日米親善のシンボルとなっています。

この後、タフト知事とカートライト学長は、本学とケント州立大学の共催により開催した“21 世紀 COE 国際シンポジウム「液晶ディスプレイと関連材料」”に出席され、スピーチをされました。



（調印を終えて）



（植樹式の模様）

◎ 平成16年度大学院秋季修了式・学位記授与式

9月29日(水)、本部第2会議室において、平成16年度大学院秋季修了式・学位記授与式を挙行了しました。

工学教育部博士後期課程4名、生物システム応用科学教育部博士後期課程3名、連合農学研究科17名及び農学教育部18名の合計42名並びに論文博士として連合農学研究科9名に学位記が授与されました。

式では、修了生一人ひとりに学位記が授与され、宮田学長から告辞がありました。



(修了生一人ひとりに学位記を授与)

◎ 「大学教育センター」発足式典を挙

10月8日(金)、農学部2号館2-21講義室において、東京農工大学「大学教育センター」の発足を祝して、発足式典及び記念講演会を開催しました。

大学教育センターは平成16年4月に、本学の教育理念を実現するために、大学院と学部の教育に関する基本的な事柄を長期的かつ全学的視野で調査・研究・調整を行い、その改善を進め、教育の企画及び実施に関して主導的な役割を果たすために設立され、教育プログラム部門、アドミッション部門、教育評価・FD部門の3部門から構成されています。

式典には、白井早稲田大学総長、国・私立大学、教育関係機関、高等学校の関係者及び学内教職員など110名が出席しました。宮田学長によるあいさつの後、池田文部科学省高等教育局国立大学法人支援課企画官から「国立大学法人化後、各大学が創意工夫のもと、教育に対して積極的な取り組みが求められるなか大学教育センターの設置等、東京農工大学の取り組みに敬意を表すとともに、創造性、独創性に富む卓越した指導能力を有する人材の養成を望みます」との祝辞がありました。引き続き、絹川前国際基督教大学長、有本広島大学高等教育研究開発センター長による記念講演会が行われました。



祝辞を述べる池田高等教育局国立大学法人支援課企画官

◎ 高大連携に伴う保護者への大学説明会を開催

10月7日(木)、小金井キャンパスにおいて、埼玉県立川越女子高等学校の保護者及び教員を対象に「大学説明会」を開催しました。

この説明会は、同校が「工学教育部高校生体験教室高大連携・連絡協議会（42校と協定）」の協定校であり、同校の保護者からの希望によること等から、多角的な高大連携推進の具体的な形の1つとして実施されました。

当日は、保護者等91名が出席し、工学教育部の概要、学科説明及び受験生のための入学試験情報等の説明が行われました。また、参加した保護者を対象に本学の「科目等履修生制度」の説明も行われ、熱心な質疑応答が行われました。



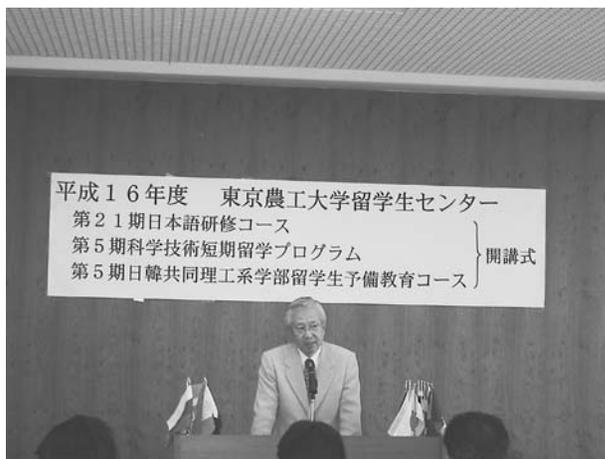
熱心に説明を聞く川越女子高校のPTA

◎ 平成16年度留学生センター第21期日本語研修コース・ 第5期科学技術短期留学プログラム・ 第5期日韓共同理工系学部留学生予備教育開講式

10月12日(火)、本部第2会議室において平成16年度留学生センター第21期日本語研修コース(10ヶ国、21名)、第5期科学技術短期留学プログラム(11ヶ国19名)及び第5期日韓共同理工系学部留学生予備教育(1名)の開講式が行われました。

式は、瀬田副学長、望月留学生センター副センター長から英語によるあいさつの後、研修生および関係教職員の紹介がありました。

日本語研修コースは6ヶ月間、日本語・日本の文化・日本事情についての教育を受けます。科学技術短期留学プログラムは、交流協定校からの留学生で1年間、科学技術系、工学系の専門科目の講義・特別実習並びに課題研究等を学びます。日韓共同理工系学部留学生は、17年4月に工学部に入学する前に6ヶ月間の予備教育を受けることになっています。



◎ 平成16年度東京農工大学大学院秋季入学式

10月13日（水）、本部第2会議室において、平成16年度東京農工大学大学院秋季入学式を挙行了しました。

式典では、神田副学長の告辞、福嶋司農学教育部評議員のあいさつが、英語で行われました。

工学教育部博士後期課程11名、生物システム応用科学教育部博士後期課程2名、連合農学研究科14名、農学教育部16名及び生物システム応用科学教育部博士前期課程3名の合計46名（うち28名の外国人留学生）が入学しました。



◎ 米国・ニューヨーク州立大学バッファロー校 新学長就任式への出席

平成16年10月15日（金）、本学との交流協定締結校であるニューヨーク州立大学バッファロー校において、John B. Simpson 第14代学長の就任式が行われ、本学から、宮田学長、工学教育部の山本教授、西澤総括本部長が出席しました。

翌日には、バッファロー校主催による“International Student Mobility and the Globalization of Higher Education”をテーマとした国際フォーラムが開かれ、15カ国から16大学が参加しました。

このフォーラムにおいて、宮田学長の代理として山本教授が、本学の教育研究・国際交流・産学連携に関する活動や成果、日本の留学生政策及びUMAP（アジア太平洋大学交流機構）の活動について講演し、参加者から高い関心を寄せられました。

◎ 動物追悼会について

10月15日（金）、府中キャンパスにおいて動物追悼会が開催されました。主に動物実験を行っている教員、学生等、あわせて約250名が慰霊碑に献花し、実験動物をあつかう者として感謝と慰霊の念を表しました。



◎ クリーンキャンペーン

10月25日（月）から29日（金）までの5日間、小金井キャンパスで「クリーンキャンペーン」を実施しました。これは、お昼休みに学生や教職員のボランティアが集まって、キャンパス内を清掃するというものです。6月に実施したクリーンキャンペーンに続いて、今年2回目のクリーンキャンペーンとなりました。

雨天のため中止した日も1日ありましたが、のべ参加人数は259名と、6月よりも多くの学生や教職員に参加していただきました。

ご協力いただいた皆様方に、心からお礼を申し上げます。



◎ オーストラリア・タスマニア大学長の来訪

平成 16 年 10 月 27 日（水）、オーストラリア・タスマニア大学の Daryl Le Grew 学長が本学を訪問されました。

当日は、オーストラリア大使館の Patrick Cremen 参事官も来学いただき、オーストラリアとの国際交流について意見交換が行われました。



講演会等特集

本学では、下記のとおり各種講演会等を開催しました。

各講演会等とも多数の来聴者が熱心に聞き入り、活発な意見交換が行われました。

開催日	講演者	講演テーマなど	開催場所
9月1日(水)	独立行政法人農業・ 生物系特定産業技術 研究機構理事長 本学経営協議会委員 三輪 睿太郎 氏	農学における基礎研究の戦略的 推進 (対象：本学の教職員)	本部第二会議室
9月16日(木)	国立大学法人東京農 工大学大学教育セン ター 教授 菅沢 茂 氏	近年の大学入試の動向と高校か ら見た東京農工大学 (対象：本学の事務職員)	本部第二会議室
10月6日(水)	独立行政法人 新 エネルギー・産業 技術総合開発機構 (NEDO) 副理事長 本学経営協議会委員 光川 寛 氏	独立行政法人 新エネルギー・ 産業技術総合開発機構 (NEDO) と大学との新しい提携方策につ いて (対象：本学の教職員)	本部第二会議室



(三輪氏)



(菅沢氏)



(光川氏)

規 則 等

目 次

- 国立大学法人東京農工大学寄附金受入規程の一部を改正する規程・・・・・・・・・・ 9
- 国立大学法人東京農工大学共同研究取扱規程の一部を改正する規程・・・・・・・・・・ 10
- 国立大学法人東京農工大学受託研究取扱規程の一部を改正する規程・・・・・・・・・・ 11

制定・改廃等のあらまし

- 国立大学法人東京農工大学寄附金受入規程の一部を改正する規程
社会的立場や信用度に問題のある寄付者からの寄付は受け入れないことができる旨の規定を設けた。
- 国立大学法人東京農工大学共同研究取扱規程の一部を改正する規程
社会的立場や信用度に問題のある申込者との共同研究を受け入れないことができる旨の規定を設けたこと及び用語の定義を明確にした。
- 国立大学法人東京農工大学受託研究取扱規程の一部を改正する規程
社会的立場や信用度に問題のある委託者からの受託研究の委託を受け入れないことができる旨の規定を設けたこと及び用語の定義を明確にした。

国立大学法人東京農工大学寄附金受入規程の一部を改正する規程を次のとおり制定する。

平成 16 年 10 月 29 日

国立大学法人東京農工大学長 宮 田 清 藏

16 経教 規程第 74 号

国立大学法人東京農工大学寄附金受入規程の一部を改正する規程

国立大学法人東京農工大学寄附金受入規程（16 経教規程第 60 号）の一部を次のように改正する。

第 4 条第 2 項第 2 号を第 3 号とし、第 1 号の次に次の 1 号を加える。

一 寄附者の社会的な立場や信用度に問題のあるもの

第 5 条第 1 項中「受入審査会」を「外部資金等受入審査会」に改める。

附 則（16 経教 規程第 74 号）

この規程は、平成 16 年 10 月 29 日から施行し、改正後の国立大学法人東京農工大学寄附金受入規程の規定は、平成 16 年 6 月 1 日から適用する。

国立大学法人東京農工大学共同研究取扱規程の一部を改正する規程を次のとおり制定する。

平成 16 年 10 月 29 日

国立大学法人東京農工大学長 宮 田 清 藏

16 経教 規程第 75 号

国立大学法人東京農工大学共同研究取扱規程の一部を改正する規程

国立大学法人東京農工大学共同研究取扱規程（16 経教規程第 61 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条第 1 号の次に次の 2 号を加える。

- 二 「研究経費」とは、共同研究を遂行するために必要とする経費をいう。
- 三 「研究料」とは、共同研究員を受け入れるための経費で、管理費を含むものをいう。

第 3 条を次のように改める。

（受入れの基準）

第 3 条 学長は、共同研究の受入れに当たって、当該研究等が本学の教育研究上有意義であり、かつ、次の各号の一に該当するものについては、共同研究として取り扱うものとする。

- 一 本学研究者の本来の職務と関連をもつもの
 - 二 その他学長が必要と認めるもの
- 2 学長は、前項の規定にかかわらず共同研究の受入れに当たって、次の各号の一に該当する場合は、受入れをしないことができる。
- 一 研究等が本学の教育研究上支障を生じるおそれがあると認められるもの
 - 二 申込者の社会的な立場や信用度に問題のあるもの
 - 三 その他学長が適当でないと認めるもの

第 5 条第 1 項中「受入審査会」を「外部資金等受入審査会」に改める。

第 8 条第 3 項を次のように改める。

- 3 共同研究員を受け入れるに当たっては、研究料を徴収するものとする。研究料については別に定めるものとする。研究料の月割り計算は行わない。

第 9 条第 1 項第 2 号を次のように改める。

- 二 外部機関等は、研究経費を負担するものとする。

第 9 条第 2 項を削り、第 3 項を第 2 項とし、第 4 項を第 3 項とする。

附 則（16 経教 規程第 75 号）

この規程は、平成 16 年 10 月 29 日から施行し、改正後の国立大学法人東京農工大学共同研究取扱規程の規定は、平成 16 年 6 月 1 日から適用する。

国立大学法人東京農工大学受託研究取扱規程の一部を改正する規程を次のとおり制定する。

平成 16 年 10 月 29 日

国立大学法人東京農工大学長 宮 田 清 藏

16 経教 規程第 76 号

国立大学法人東京農工大学受託研究取扱規程の一部を改正する規程

国立大学法人東京農工大学受託研究取扱規程（16 経教規程第 62 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条を次のように改める。

（定義）

第 2 条 この規程における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

- 一 「受託研究」とは、本学が外部から委託を受けて職務として行う研究、試験、試作及び調査等をいう。
- 二 「研究経費」とは、受託研究を遂行するために必要とする経費をいう。

第 3 条を次のように改める。

（受入れの基準）

第 3 条 学長は、受託研究の受入れに当たって、委託者から委託された研究等が本学の教育研究上有意義であり、かつ、次の各号の一に該当するものについては、受託研究として取り扱うものとする。

- 一 受託研究を担当する職員（以下「研究担当者」という。）の本来の職務と直接的関連をもつもの
- 二 本学の施設設備等を使用して行われるもの
- 三 その他学長が必要と認めるもの

2 学長は、前項の規定にかかわらず受託研究の受入れに当たって、次の各号の一に該当する場合は、受入れをしないことができる。

- 一 委託された研究等が本学の教育研究上支障を生じるおそれがあると認められるもの
- 二 申込者の社会的な立場や信用度に問題のあるもの
- 三 その他学長が適当でないと認めるもの

第 5 条第 1 項中「受入審査会」を「外部資金等受入審査会」に改める。

第 8 条第 1 項中「受託研究を遂行するために必要とする」を削り、第 2 項中「は原則として管理費を含むものとし、その他」を「について」に改める。

附 則（16 経教 規程第 76 号）

この規程は、平成 16 年 10 月 29 日から施行し、改正後の国立大学法人東京農工大学受託研究取扱規程の規定は、平成 16 年 6 月 1 日から適用する。

行 事

〈平成16年9月〉

日	曜	本部・図書館関係事項		学部関係事項		
1	水	役員・部局長・評議員懇談会 三輪睿太郎氏 講演会	15:00 16:30	本・第1会議室 本・第2会議室	生物システム応用科学教育部 教授会 9:30 工学教育部戦略企画委員会 10:00 生物システム応用科学教育部科研費に関する説明会 11:30	生・大会議室 工・中会議室 生・大会議室
2	木				農学教育部1次入学試験(3日まで)	
6	月	短プロ実施専門部会 留学生センター運営委員会	14:30 15:00	学生部共用C 学生部共用C		
7	火	役員会	13:30	学長室	農学教育部運営委員会 15:00	農・第2会議室
8	水				工学教育部運営委員会 10:00 工学教育部施設設備委員会 15:15 工学教育部教育委員会 15:15 工学教育部学生生活委員会 15:30 工学教育部社会貢献小委員会 15:30	工・中会議室 工・中会議室 総合情報メディアセンター3F会議室 小金井図書館3Fメディア会議室 6号館402教室
9	木	広報・社会貢献委員会 国際交流委員会 学生生活委員会	10:00 13:30 15:00	第1会議室 第1会議室 学生部共用C	工学教育部私費外国人留学生特別選抜(国外出願)受付(17日まで)	
10	金				繊維博物館協議会 10:45 平成16年度年度関東地区国立大学工学部長会議	館長室 KKRホテル東京
11	土				第4回子供科学教室 10:00	繊維博物館講堂
13	月	役員会	13:30	学長室	連合農学研究科代議員会・入試委員会	宇都宮大学
14	火	新任教員のためのFDセミナー 留学生センター日本語研修コース 短プロ修了式	9:00 11:00	50周年記念ホール 本・第2会議室	生物システム応用科学教育部 10:00 入学試験合格発表 博士前期課程(平成16.10月・平成17.4月入学) 博士後期課程(平成16.10月入学) 平成16年度自衛消防審査会 12:30	生・1階掲示板 上水公園
15	水				工学教育部運営委員会 10:00 農学教育部 科研費に関する説明会 13:30 農学教育部教授会 14:30 工学教育部教授会 15:00 工学教育部 科研費に関する説明会 17:00 工学教育部入学試験合格者発表 前期課程(平成16.10月・平成17.4月) 後期課程(平成16.10月)	工・中会議室 連・第1会議室 連・第1会議室 工・大会議室 工・大会議室
16	木	第3回事務職員研修会 菅沢茂氏 講演会	15:30	本・第2会議室		
17	金				第91回全国農学系学部等事務協議会 13:30 農学教育部10月入学手続き	ホテルゴーフル神戸
21	火	大学教育委員会	15:00	学生部共用C	農学教育部・農学部学生生活委員会 10:30	学生部共用C
22	水	教養教育小委員会	10:00	学生部会議室		
24	金				生物システム応用科学教育部 入学手続 博士前期課程(平成16.10月入学) 博士後期課程(平成16.10月入学)	生・事務室
26	日	大学入試センター試験リスニング試行テスト 終日		府中キャンパス		
27	月	役員会	10:00	学長室		
28	火	オハイオ州知事来訪・ケント大学との交流協定調印式 平成16年度関東・甲信越地区 国立大学法人等係長(10月1日まで)	8:00	BASE教育部長室 国立オリンピック記念 青少年総合センター		
29	水	大学院秋季修了式・学位記授与式 教育研究評議会	14:20 15:00	本・第2会議室 本・第1会議室	工学教育部戦略企画委員会 10:00 工学教育部総務委員会 15:15	工・中会議室 工・中会議室
30	木	全学計画評価委員会	13:30	本・第1会議室		

★府中図書館 定例休館日 9月30日(木)・臨時休館日 9月6日(月)～9月8日(水)
 小金井図書館 定例休館日 9月30日(木)・臨時休館日 9月1日(水)～9月3日(金)
 両館とも短縮開館 8:45～17:30 土曜日休館

〈平成 16 年 10 月〉

日	曜	本部・図書館関係事項			学部関係事項		
2	土				第 5 回子供科学教室	10:00	博物館講堂
5	火				繊維博物館協議会	10:30	館長室
					農学教育部運営委員会	15:00	農・第 2 会議室
6	水	役員・部局長・評議員懇談会	15:00	本・第 1 会議室	生物システム応用科学教育部運営委員会	9:30	生・教育部長室
		光川 寛 氏講演会	16:30	本・第 2 会議室	工学教育部運営委員会	10:00	工・中会議室
		総務委員会	13:30	本・第 1 会議室	工学教育部施設整備委員会	15:15	工・中会議室
					工学教育部教育委員会	15:15	総合情報メディアセンター3F多目的会議室
					工学教育部学生生活委員会	15:30	図書館メディア会議室
7	木	国立大学法人等監事協議会(仮称)設立総会	13:00	学術総合センター			
8	金	役員会		学長室	第28回国立大学52工学系学部長会議		KKRホテル東京
		大学教育センター発足式典・記念講演会	10:00	農・2-21講義室			
		平成16年度国立大学法人保健管理施設協議会	15:30	奈良教育大学			
12	火	留学生センター開講式	11:00	本・第 2 会議室			
13	水	平成16年第5回就職ガイダンス	16:30	工・11号館多目的会議室	工学教育部運営委員会	10:00	工・中会議室
		大学院秋季入学式	13:30	本・第 2 会議室	工学教育部広報社会貢献小委員会	15:30	(場所未定)
					農学教育部教授会	14:30	連・第 2 会議室
18	月				連合農学研究科代議委員会	14:00	連・第 1 会議室
19	火	学生生活委員会	15:00	学生部共用C			
		環境・安全衛生委員会	10:00	本・第 3 会議室			
20	水	学生定期健康診断	13:00	保健管理センター	工学教育部戦略企画委員会	10:00	工・中会議室
		(農・工・生物システム応用科学教育部・連合農学研究科秋季入学生)			農学教育部学生生活委員会	15:00	農・会議室
		教育研究評議会	15:00	本・第 1 会議室	農学教育部広報・社会貢献委員会	15:00	農・第 2 会議室
21	木	全国国立大学理学系学長会議(22日まで)		大学コンソーシアム京都	第 1 1 1 回全国農学系学部長会議(22日まで)		佐賀大学
25	月	役員会	15:30	学長室			
27	水	平成16年第6回就職ガイダンス	16:30	農・講堂	農学教育部教育委員会	14:45	農・第 1 会議室
		タスマニア大学学長来訪	16:00	学長室	工学教育部総務委員会	15:15	工・中会議室
					工学教育部教育委員会	15:15	総合情報メディアセンター3F多目的会議室
28	木	大学教育委員会	10:00	工・中会議室	全国連合農学研究科研究科長会議(29日まで)		鳥取大学
29	金	経営協議会	14:00	本・第 1 会議室	工学教育部私費外国人留学生特別選抜(国外出願)合格者発表		

★府中図書館 定例休館日 10月29日(金)
 小金井図書館 定例休館日 10月29日(金)

F M多摩丘陵（波丘地）の植物 その16

F M多摩丘陵の樹木

F M多摩丘陵の林は、昭和23年に当時の南多摩郡由木村に東京農工大学が土地を購入するまでは、地元の人々の薪炭林として利用されていたと思われます。後になって大学によって植えられたスギやヒノキの林の他は、正にコナラ・クヌギを中心としたいわゆる関東の雑木林の樹木構成となっています。今流行りの言葉で言えば「里山」ということになりましようか。まだこの言葉は一般的でないのか、わたしのコンピュータのワープロでは「さとやま」と打って変換しても「里山」の漢字は出てきません。

スギ・ヒノキ以外に植えられている木々は、研究棟の近くからタラヨウ、サザンカ、イタリアヤマナラシ、ミズナラ、イヌツゲ、カツラ、アキニシ、ニセアカシアなどです。ケヤキは昔からあったものもあるようですが、施設ができた当時に外周に沿って一定間隔で植えられたと、F M多摩丘陵に一番長くおられる富沢さんからお聞きしています。面白いことに同じ時に植えられたのに、日当たりのよい場所のものは巨木となっているのに対して、恵まれない場所のものは未だに10m以下の背丈しかありません。また鳥などによって種が運ばれて生えて来た樹木には、ヒイラギナンテン、カクレミノ、キリ、カラスザンショウ、センダンなどが挙げられます。



紅葉は青空がよく似合う



研究棟から正門への道



一番背の高いイタリアポプラ



紅葉がきれいなヤマハゼ

農工大の樹 その52



〈 解 説 〉

エノキ

エノキ(ニレ科エノキ属の種、学名：*Celtis sinensis* var. *japonica* Nakai、漢字：榎)

この種は高さ20m、直径1m以上にもなる落葉高木で、北海道を除く日本、朝鮮半島、台湾、中国中南部、東南アジアに分布します。日本では沿岸地域や谷部によく見られます。枝にヤドリギが寄生することが多く、また、幹には乳房状の瘤ができやすいため、不思議な霊が宿る木とみなされ、寺社の境内にも植えられました。大木になったこの木の中には「縁切り榎」、「縁結び榎」「乳房榎」などと呼ばれたものもありました。また、大木になると遠くからも見え、夏には緑陰をつくることから、一里塚の上にもよく植えられました。樹皮は灰色でざらつき横縞状の模様ができるのが特徴です。10cmくらいの葉は、ややゆがんだ楕円形で、両面ともざらつき、中央から上部にかけて粗い鋸歯があります。果実は秋に赤褐色に熟し甘いので、小鳥が好んで食べます。静岡の登呂遺跡でもこの種の種子が多く見つかったことから、弥生人にとっては重要な食料であったと考えられています。この木は学内にも多く見られます。実の熟するのはこれからです。この実を食して、古代人が味わった味を確かめてみてはいかがでしょうか？

(環境資源共生科学部門 教授 福嶋 司)